



スキンケアを軸に日常生活を支えます



皮膚・排泄ケア認定看護師 西岡一美

外科系病棟で看護師として働く中でたくさんの患者様と関わらせていただき、創傷の管理、ストーマ造設後のケアを行う内に様々な疑問が浮かぶようになりました。今の方法が最良の手段なのか、処置による苦痛を取り除くことができないか・・・等々。多くの知識をもち自信をもって患者さんのケアを行いたいと考え、皮膚・排泄ケア認定看護師を目指しました。

2013年に資格を取得し、現在は管理部門で褥瘡予防、褥瘡保有者へのケアを中心に院内のたくさんの患者様・スタッフに関わらせて頂いています。

研修後、現場に戻って感じたのは、専門知識は認定看護師ひとりが持っているに立ってない！ということです。

褥瘡に限らず、皮膚・排泄ケアの問題は、知識と技術をもつことで予防できることばかりです。多くのスタッフにスキンケアに役立つ知識や技術を知ってもらい、スタッフも患者様も苦痛や負担を感じないようなケアの方法を広めることが今の目標です。



地域連携の輪を拡げる取り組み

感染管理認定看護師 浅井雄治



コロナ禍で培った経験と課題を基に、今後の新興感染症発生を見据えて迅速かつ円滑な対応に結び付けられるように、施設内ではシステム整備に取り組んでいます。また地域医療圏の連携強化施策として保健所と合同で高齢者施設等の地域医療の公平性の確保、感染対策の標準化と効率化を目指し、リーダーの人材育成活動にも参加しています。

感染対策における地域連携活動には「感染対策をみんなで取り組むことで効果が高まる」という考え方が根底にあります。施設単体では限界がある中、専門職が地域を支え、知識と経験を拡げていくことで、感染症に強い地域づくりが可能になると考えています。

地域連携の輪を拡げる活動として、看護協会や連携施設の枠を超えて多方面からの訪問依頼にも積極的に対応するように心がけ、訪問指導や勉強会を開催しています。

今後も当院の感染対策推進活動に加え、他施設との連携強化並びに地域全体の感染対策向上にも貢献していきたいと考えております。感染対策に関するご相談があれば、どうぞお気軽にご連絡ください。

